

大根地区

総合計画はだの2030プラン後期基本計画

地域が考えるまちづくり計画案



令和7年3月

大根地区
地域まちづくり計画策定会議

1 現状と課題

(1) まちの魅力

大根地区は、弘法山、金目川、大根川などの豊かな自然に囲まれており、道祖神、地藏、東光寺などの歴史的資源が地域の中に点在しています。こうしたまちの魅力を生かし、愛着の持てるまちを作っていくことが必要です。

<策定会議の意見より>

- 現行の計画内容を継続

(2) 環境美化・生活環境

大根地区では、快適な生活環境づくりに向けて、大根川の清掃や各地域の美化清掃など、様々な活動を進めてきましたが、自治会員の高齢化等により担い手が減少しています。今後、新たな担い手の確保に取り組むとともに、より多くの方が日常生活の中で無理なく参画できる環境美化の取組みが求められています。

<策定会議の意見より>

- 各地域における美化清掃の現状と課題を追記
 - ・ 「各地域の美化清掃」を追記する。
 - ・ 大根川の清掃は、1つの自治会と東海大学の学生(若手)で行われていたが、現在は自治会員の高齢化や若手の減少等により行われていない。新たな担い手の確保に取り組むことが必要だと思う。

(3) 防災・防犯

近年、自然災害の規模が増大していることから、災害時の避難体制の充実が求められています。特に、高齢者など、要配慮者の避難支援体制の構築や、情報伝達手段の改善、防犯対策の充実も必要です。

<策定会議の意見より>

- ひとり暮らし高齢者の避難支援体制構築の必要性を追記
 - ・ 増加するひとり暮らし高齢者の避難支援体制の構築が必要だと思う。行政、地域が連携した取組みが必要である。

1 現状と課題（続き）

(4) にぎわい

東海大学前駅のにぎわいづくりや若者の居場所づくり、商店街の活性化が求められています。地区内に東海大学や秦野高校が立地しているというメリットを生かした「学生と連携した取組み」も必要です。

<策定会議の意見より>

● 学生と連携した取組みの必要性を追記

- ・ 東海大学の学生にも市内に居住し勉学に励んでいる方がいると思うので、学生を中心に地域の活動、自治会・社協等のイベントのお手伝いをお願いし、地域住民との交流を図れるとよいと思う。
- ・ イベントでの東海大学生や秦野高校生による出店など、商店街とのコラボを企画する。

(5) ふれあい・助けあい

市全体と比べ高齢化率が高いため、地域でのふれあいや助けあいなど、高齢者の生活支援を進めていくことが必要です。また、これからは、外国籍市民との共生も必要です。

<策定会議の意見より>

● 高齢化が進行していることを捉えた、課題認識を示すことが重要

- ・ 高齢化が進み、買物や通院等が難しくなっており、送迎支援・移動販売等の充実が必要である。
- ・ 「高齢化が進む中、地域でのふれあい活動や助けあい活動など、高齢者の生活支援を進めることが必要です。」と高齢者に特化すべきと考える。

(6) 子育て環境

大根地区では、「ひろはた自習・相談室」で子どもの学習支援を進めてきましたが、地域の子どもたちの遊び場や居場所づくりを更に進めていくことが求められています。また、これからを担う、若い世代に夢を持ってもらえるようなまちづくりが求められています。子ども会の活動停止や廃止がある中、新たな活動の形を検討する必要があります。

<策定会議の意見より>

● 子ども会の現状を踏まえ、子どもの居場所づくりに係る課題認識を示すことが重要

- ・ 「…子ども会の活動停止や廃止がある中、新たな活動の形を検討する必要があります。」とする。
- ・ 子ども会の遊び場や居場所が不足しているという課題がある。

2 目指すまちの姿

(1) 目指すまちの姿(将来像)

安全・安心・清々しいやさしいまち

(2) 基本理念（みんなの思い）

安心して、いつまでもいきいきと暮らせる住み良いまち

(3) 地域づくりの基本目標

- ① 自然を大切にするまち
- ② 子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち
- ③ いやしの場づくりへ努力するまち
- ④ 人間関係を豊かにするまち
- ⑤ 思いやりとやさしさを持つ、元気な子どもを育てるまち

<策定会議の意見より>

- 将来像
 - ・ 現行の計画内容を継続
- 基本理念
 - ・ 「安心に、いつまでも・・・」→「安心して、いつまでも・・・」とする。
- 基本目標
 - ・ 現行の計画内容を継続

3 地域版リーディングプロジェクト

【プロジェクト名】

子どもたちの地域の居場所づくり

【プロジェクトの背景・目的】

- 子ども達を取り巻く環境や、学校が抱える課題が複雑化・多様化し、「地域とともにある学校づくり」が全国的に求められている。
- 大根地区では、「ひろはた自習・相談室」で子どもの学習支援を行っており、地域ぐるみでの子育て支援活動が盛んである。
- 一方で、少子高齢化の進行、共働き世帯の増加などにより、子どもが孤立しがちな現状がある。
- 子ども会の活動停止や廃止がある中、新たな活動の形を検討する必要性が生じている。
- そこで、学校と地域が連携した子どもたちの居場所づくりを、リーディングプロジェクトに位置付けて進めていく。

<策定会議の意見より>

- **子ども会の現状を踏まえ、多様な担い手の確保・育成が重要**
 - 子ども会の担い手が減少しているため、役員を保護者以外にも自治会や子ども会のOG、OB、中学生以外の学生、例えば秦野高校生や東海大学生なども含めていく。又は、他地区と合同開催するなど、新たな活動の形を検討する必要があると考える。

【プロジェクトの内容】

- ひろはた自習・相談室の運営支援
- 子ども食堂の運営
- 学校開放の促進等、学校と地域住民の連携による子どもの居場所づくり

【推進体制】

- 自治会を含めた地域全体、大根広畑コミュニティスクール、青少年相談員・指導員、各種ボランティア団体、行政等が連携を図り、子どもの居場所づくりを推進する。

<策定会議の意見より>

- **学校をはじめとする多様な主体との連携が重要**
 - 子どもの居場所づくりのためには、学校開放の促進が効果的だと思う。学校のみならず、地域住民との連携が必要になると思う。
 - 地域では、様々な団体が、個別又は連携を取りながら活動している。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
① 自然を大切に するまち	● ホテルが棲む環境づくり <ul style="list-style-type: none">地域住民や東海大学、秦野高校及び大根中学校の学生・生徒等と連携した大根川の清掃東海大学と連携した環境づくりの検討	<ul style="list-style-type: none">東海大学、秦野高校、大根中学校東海大学
	● 田園風景の保全 <ul style="list-style-type: none">地域の農業団体による休耕田の活用東海大学と連携した保全活動の検討	<ul style="list-style-type: none">地域の農業団体東海大学

<策定会議の意見より>

● 地域内の教育機関との連携が重要

- 「地域住民や東海大学・秦野高校・大根中学校の学生と・・・」とする。
- 休耕田の活用として、東海大学と連携して、保全活動の可能性を検討・研究するとよいと思う。
- 大根川の清掃が継続できるような仕組みづくりが必要だと思う。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
② 子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な空間（庭、ベランダ、生垣等）を花や緑で彩る <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会や市民による自主的な活動 ・ 公園や歩道への花植え活動（花いっぱいのみち） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会、個人 ・ 自治会、学校
	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の分別とごみの減量活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大根ふれあいまつりに廃棄物減量コーナーを設置するなど、啓発活動の実施 ・ 地域行事におけるごみの持ち帰りの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社会福祉協議会、自治会
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東海大学前駅周辺環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 大根中学校と連携した駅周辺のごみ拾い ・ 大根中学校、秦野高校、東海大学と地域が連携した大根川の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大根中学校 ・ 大根中学校、秦野高校、東海大学、地域全体
	<ul style="list-style-type: none"> ● 無理なく参画できる環境美化の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 広畑小学校や大根小中学校などの通学路のごみ拾い活動 ・ 住民の環境美化意識の向上（見回り、声掛け運動） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野高校、大根小中学校 ・ 自治会
	<ul style="list-style-type: none"> ● ペットと暮らせるまち <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアによる里親探し、イベント会場での里親探し、地域猫活動 ・ 飼い主のマナー向上（犬の散歩中のあいさつ・声掛け運動） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア団体、個人 ・ 地域全体

＜策定会議の意見より＞

- **多様な主体との連携による東海大学前駅周辺環境づくりが重要**
 - ・ 東海大学前駅周辺環境づくり→「大根中学校・秦野高校・東海大学と地域が…」とする。
- **環境美化活動の対象となる通学路（広畑小学校や大根小中学校）の表記を変更**
 - ・ 下大槻団地周辺などの・・・→「広畑小学校や大根小中学校などの・・・」とする。
- **「高齢者」「ペット」それぞれが暮らしやすいまちが必要**

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）（つづき）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
② 子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち	● 高齢者にやさしいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティタクシーの充実（地域の声を反映した停留所の整備等） ・ 送迎ボランティア「おたすけ隊」や「ひろはた買物サポート」の周知等 ・ その他高齢者の生活支援の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、自治会、タクシー会社、ボランティア
	● 通学路の見守り <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の整備 ・ 通学路の見守りとあいさつ、声掛け（子どもとの交流にもつながるため、歩道が整備されても続けていく） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政 ・ 自治会
	● 災害を最小限度にとどめる防災体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の東海大学・秦野高校との連携 ・ 家庭・自治会での防災体制の強化 ・ 避難所組織の運営訓練 ・ 高齢者等の要避難支援者安否確認見守り活動 ・ 緊急連絡体制の整備（電話連絡網のほか、自治会SNS「いちのいち」の利用促進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海大学、秦野高校 ・ 自治会、各家庭 ・ 自治会 ・ 自治会 ・ 自治会

<策定会議の意見より>

- 「高齢者」にやさしいまちづくりが重要
 - ・ コミュニティタクシーを増やして欲しい。山や坂の多い地域なので、高齢者や子ども達の移動に大事だと思う。
 - ・ 高齢者、社会的弱者の「移動支援」として既に活動している「おたすけ隊」、「ひろはた買物サポート」などを知らせる活動と、充実するための支援を明記したい。
 - ・ ごみ捨てが困難な高齢者が増加している中で、今年度で訪問介護事業者が閉鎖するため、地域でごみ捨てなどの助けあい団体が必要だと思う。
- 時代にあった防災体制づくりが重要
 - ・ 緊急連絡体制の整備（電話連絡網）→緊急連絡体制の整備(LINE等のSNSの活用)。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
② 子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち	● 犯罪が起きにくい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロールの実施 防犯・交通施設の保守 防犯灯が必要な箇所の洗い出しと設置 各家庭での門柱灯など、自主的な点灯 無施錠の自転車の持ち主への声掛け運動 防犯カメラの設置 緊急連絡先の周知等（警察への通報、地域への連絡方法の周知・訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 行政 自治会、行政 各家庭 自治会 行政、各家庭 自治会
	● 地域での災害への備え（風水害に対する意識向上） <ul style="list-style-type: none"> 災害時に自主的に自治会館を避難所として開設、市への開設情報報告 緊急連絡体制の整備（電話連絡網のほか、自治会SNS「いちのいち」の利用促進） 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 自治会
③ いやしの場づくりへ努力するまち	● 明日に希望が持てる場づくり <ul style="list-style-type: none"> 公園や地域の美化活動 	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体
	● 高齢者の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点づくり（自治会単位など、身近な地域に設置） 空家の利活用（市で把握している身近な空家を地域の拠点として利活用） 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員、自治会

<策定会議の意見より>

● 防犯に係る基盤、体制整備が重要

- 災害や犯罪への対応が自治会ばかりになっているので、他の団体と連携を図った取組みを検討すべきだと思う。
- 防犯パトロールの強化、防犯灯の必要箇所の洗い出しが必要だと思う。

● 時代にあった防災体制づくりが重要（再掲）

- 緊急連絡体制の整備（電話連絡網）→緊急連絡体制の整備（LINE等のSNSの活用）。

● 美化活動の対象を拡大して記載することが重要

- 「公園や地域の美化清掃」とする。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）（つづき）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
④ 人間関係を豊かにするまち	● 地域住民のふれあい、助けあい活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 地域行事への若者の参加の呼びかけ 大根ふれあいまつりの開催 学校の授業や活動における交流など、日常に溶け込んだ交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 地区社会福祉協議会 小中学校、秦野高校、東海大学
	● 東海大学・秦野高校・大根中学校と地域との交流、力を借りた取組み <ul style="list-style-type: none"> 地域行事への大学生や高校生、中学生の参加 文化祭・学園祭・地域行事を通じた相互交流 様々なボランティアフィールドの提供とその情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 東海大学、秦野高校、大根中学校、地域全体
	● 東海大学前駅周辺のにぎわい、若者の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体の参画による、東海大学前駅の駅前広場のイベントの活性化 学生にも参画してもらい、学生が行きたくなるチラシづくりを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 秦野高校、東海大学、商店主、自治会、ボランティア団体
	● 敬老会などの取組みの充実 <ul style="list-style-type: none"> 敬老会を「見る型」からカラオケ大会などの「参加型」にシフトすることで地域のふれあいを醸成 敬老会に不参加の方には近所で声掛け運動 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会

<策定会議の意見より>

● 担い手として、若年層への働きかけが重要

- 30代から40代の転入者が増加傾向のため、今後地域の担い手として地域の実情を理解してもらえるような機会を設ける必要がある。
- 「東海大学・秦野高校・大根中学校と・・・」とする。
- 「地域行事への大学生・高校生・中学生の参加」とする。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
⑤ 思いやりとやさしさを持つ、元気な子どもを育てるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● モラル、マナー意識の高揚 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大根小中学校、秦野高校生の登下校時における、あいさつの呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大根小中学校、秦野高校、地域全体
	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちが参加する活動や野外で遊べる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年指導員による野外活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年指導員
	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの地域の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ ひろはた自習・相談室の運営支援 ・ 子ども食堂の運営 ・ 学校と地域住民の連携による子どもの居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア団体、地域全体、行政
	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども会のあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体での検討体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大根鶴巻子ども会育成連絡協議会、地域全体

＜策定会議の意見より＞

- **子どもが地域ですくすくと育つことができるような場づくり、体制の再構築が重要**
 - ・ 子ども達に交流の場を与えることが大切だと思う。例えば東海大学にいる留学生との交流(外国の遊びを教えてもらう)など。
 - ・ 学校と地域住民と連携した「大根広畑子どもを育む会」で子どもの居場所づくりを検討すべきだと思う。
 - ・ 子ども会の活動停止や廃止がある中で、新たな活動の形を検討する必要がある。

5 大根地区地域まちづくり計画策定会議のあらまし

(1) 地域まちづくり計画策定会議委員（選出分野）

大根地区自治会連合会	大根地区民生委員児童委員協議会
広畑地区民生委員児童委員協議会	秦野保護司会大根・鶴巻支部
大根地域高齢者支援センター	身体障がい者福祉協会大根鶴巻支部
大根鶴巻地区体育協会	青少年指導員連絡協議会
青少年相談員連絡協議会	大根地区防犯指導員連絡会
食生活改善推進団体大えのき第2	手をつなぐ育成会大根鶴巻支部
東海大学	秦野高等学校

委員数28名

(2) 主な検討経過

回数	日程・会場	内容
第1回	令和6年11月11日(月) 18:00~ 広畑ふれあいプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画後期基本計画における地域まちづくり計画の策定について 前期地域まちづくり計画における取組みについて 「地域が考えるまちづくり計画案」の検討に向けて（基本データ等の紹介） 「地域が考えるまちづくり計画案」の策定に向けて（意見交換、課題カードの配付） 今後の予定について
第2回	令和6年12月16日(月) 18:00~ 広畑ふれあいプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 地域まちづくり計画の検討について 今後の予定について
第3回	令和7年1月27日(月) 18:00~ 広畑ふれあいプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 地域まちづくり計画の検討について 今後の予定について

